

進路だより

北九州市立特別支援学校
北九州中央高等学園 進路支援部
令和8年1月16日(金)
第29号

◆「雇用促進セミナー」開催される◆

12月4日(木)に「第13回北九州市立特別支援学校雇用促進セミナー」が、以下の2つを主なねらいとして、本校で開催されました。また、今年度も、清掃技能検定が同日開催され、市内にある特別支援学校から本校を含め5校が参加しました。参加していた企業や障害福祉サービス事業所は、昨年とほぼ変わりなく、45社で、総勢61名が参加されましたが、嬉しいことに45社中18社は、新規参加企業でした。

「雇用促進セミナー」のねらい

- ① 北九州市立の特別支援学校の高等部や北九州中央高等学園の生徒が、日頃の学習で身に付けた職業技能の成果を企業や障害福祉サービス事業所の方々に発表することで、将来に向けた就労意欲と技能の向上を図る。
- ② 参加した企業や障害福祉サービス事業所の方々が、特別支援学校に在籍する生徒の職業技能などを知ること、障害者雇用や障害福祉サービス利用への理解を深め、就労の促進を図る。

清掃技能検定とは…特別支援学校の生徒が、福岡県指定の清掃技能全3種目(テーブル拭き、自在箒、水モップ)に挑戦し、上級検定への資格取得を目指すものです。

今年度も、北九州市内の特別支援学校の紹介と各特別支援学校ブース及び本校の学校見学、並行して清掃技能検定が行われました。

本校の作業班の見学では、各作業班の代表が作業内容を丁寧に、はきはきと説明し、商品の紹介もできていました。各作業班の説明でも、元気のよい挨拶ができる生徒の姿を見て、参加されたみなさんは、とても感心していました。



他の特別支援学校の紹介では、各特別支援学校の進路指導担当が、学校紹介のプレゼンや作業学習で作った商品を見せながら、各特別支援学校の特長を説明しました。また、今年度は「雇用促進セミナー」終了後、パン・接遇班の生徒たちが校内喫茶を開き、事務・軽作業班と農耕班が製品販売を行いました。「雇用促進セミナー」の参加者に対して日頃の成果を発揮していました。

清掃技能検定では、テーブル拭き、自在箒、水モップの3つの検定種目をどの生徒も、緊張しながらも真剣に取り組み頑張っていました。検定後、本校の生徒に感想を聞くと「緊張しましたが一生懸命頑張りました。」と満足していました。

学校見学の合間に情報交換会として、参加した企業や障害福祉サービス事業所の方々と各特別支援学校の進路指導担当との名刺交換が行われ、交流を深めました。「雇用促進セミナー」に参加された企業や障害福祉サービス事業所の方々が、少しでも特別支援学校やその生徒たちの理解がすすみ、雇用へと結びつくことを願っています。

